

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	イルフプラザ管理事業			コード	7203	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	大槻 三男
3 事業概要	目的体系	基本目標	人が集い、にぎわいと活力あふれるまち			
		政策	産業の振興	施策	商業・サービスの振興	
		予算科目	イルフプラザ管理事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市イルフプラザ条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
施設の概要 （簡潔に）	施設の維持管理、商業活性化センターの活用	
目的	対象者	施設利用者
	意図	利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切な維持管理を行う。

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	元年度指定管理料 円
施設における 通常業務	イルフプラザ管理組合事務局業務及び市保有床の賃貸借
事業の実施内容	(元年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 利用者が安全で快適に使用できるよう施設の管理を行ったほか、円滑な組織運営を図るため、商業活性化センター（テナント）、地権者店会、生涯学習活動センター等との調整を行った。
前年度の課題 への対応	設備の定期点検を行うなかで、指摘があった箇所の修繕工事を実施した。法定点検により劣化を指摘されていた袖看板の撤去工事を行った。

6 施設の利用状況		*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%		
年間開設日数（日）	365	365	366	365	
1日の開設時間（時間）	15	15	15	15	
年間利用可能時間（時間）	5,475	5,475	5,490	5,475	
年間利用実績（時間）	5,475	5,475	5,490		
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0	
有料利用者数					
無料利用者数					
減免措置者数					
③ 年間利用件数（件）	15	14	13	12	
有料利用件数	12	11	10	9	
無料利用件数	0	0	0	0	
減免措置件数	3	3	3	3	
④ 1日あたり利用者数、件数	0.0	0.0	0.0	0.0	
⑤ 施設利用状況の説明					

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	133,097,964	141,827,639	133,707,694	145,556,000
経常経費	126,123,564	135,466,439	133,707,694	145,556,000
臨時的経費	6,974,400	6,361,200	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	5,520,000	5,520,000	5,520,000	5,520,000
正規職員の人数(人)	0.69	0.69	0.69	0.69
③ 合計コスト(①+②)	138,617,964	147,347,639	139,227,694	151,076,000
前年度比		106.3%	94.5%	108.5%
財源内訳				
一般財源	89,395,193	97,761,480	93,516,714	95,694,144
特定財源	49,222,771	49,586,159	45,710,980	55,381,856
* 特定財源の説明	イルフプラザ使用料、借入土地建物賃借料、テナント実費徴収金			
④ 施設使用料年間収入額	49,222,771	49,586,159	45,710,980	58,128,000
⑤ 年間減免措置額	4,463,522	4,419,300	4,463,500	4,434,300
⑥ 受益者負担割合	40.3%	38.1%	37.5%	43.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	8,776,238	10,070,460	10,709,823	
前年度比		114.7%	106.3%	
⑧ コストに関する補足説明	施設管理に伴う必要経費の増による			

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況（項目6/住民の満足度）は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 92.6%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 92.2%		0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	<p>(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)</p> <p>電気設備や空調設備等の経年劣化が進んでいることや、今後部品等が製造されないなどの課題があり将来入替が必要である。 社会環境の変化や通信販売などの影響もあり、店舗全体の集客力が落ちてきている。</p>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>保守点検の範囲内であれば部品等の交換を行っているが、機械設備などは計画的な入替が必要となる。 店舗会でも新たなイベントを立ち上げるなど、集客に向けた取組みを実施している。</p>
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	A
13 大規模修繕の予定			
予定事業費		円	予定時期
内容			

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	7203	イルフプラザ管理事業
-----	------	------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費	339,538		339,538	消耗品、修繕料等
役務費	70,067		70,067	火災保険料
使用料及び賃借料	1,675,000		1,675,000	土地借上料
負担金補助及び交付金	131,623,089		131,623,089	共益費負担金
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	133,707,694	0	133,707,694	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.69		0.69
合計	5,520,000	0	5,520,000

人

円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
イルフプラザ使用料	9,557,700		9,557,700	テナント使用料
財産使用料	94,666		94,666	自動販売機
借入土地建物賃借料	2,972,460		2,972,460	
テナント実費徴収金	33,086,154		33,086,154	
			0	
			0	
合計	45,710,980	0	45,710,980	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	93,516,714	0	93,516,714

施設の運営コスト計算シート

事業名	7203	イルフプラザ管理事業
-----	------	------------

1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00
合計	0	0	0

人

円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0